

平成 28 年度

学校教育自己診断

結果分析

大阪府立北かわち皐が丘高等学校

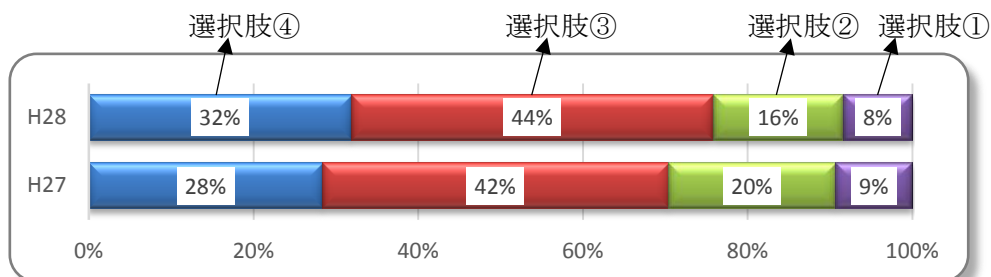
・各質問に対し、選択肢は次の④～①である。また、生徒編【1】で示しているように、それぞれのグラフにおいて、選択肢④、③、②、①の順に左から並んでいる。

④よくあてはまる ③ややあてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない

・本分析において、肯定的回答とは ④＋③ を意味している。なお、四捨五入の関係でグラフに記載された数字の合計が 100%にならないことがある。

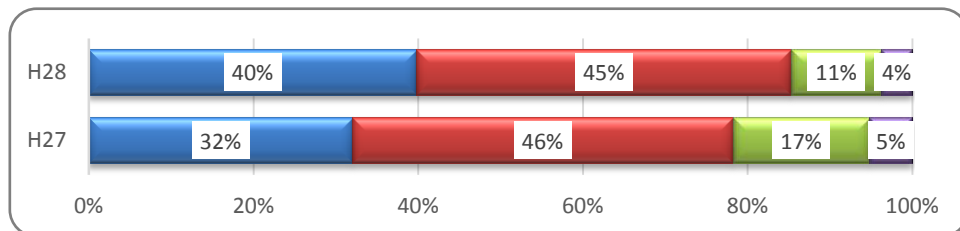
生徒編

【1】「学校に行くのが楽しい」



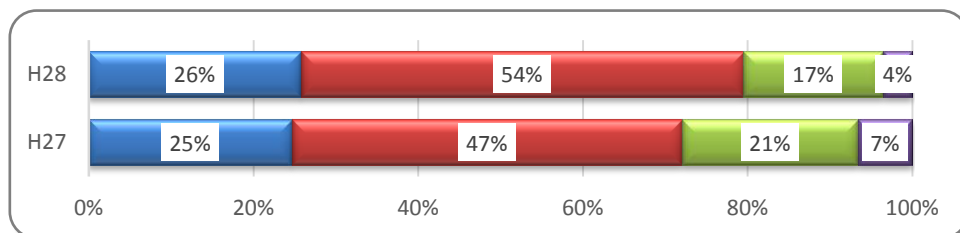
今年度の肯定的回答が 76%であり、前年度より増加した。「①まったくあてはまらない」という回答が 8%存在していることにしっかりと向き合って、生徒一人ひとりの気持ちを大切にしたい教育活動を行わなければならないと考えている。

【2】「将来の進路や生き方について学ぶ機会がある」



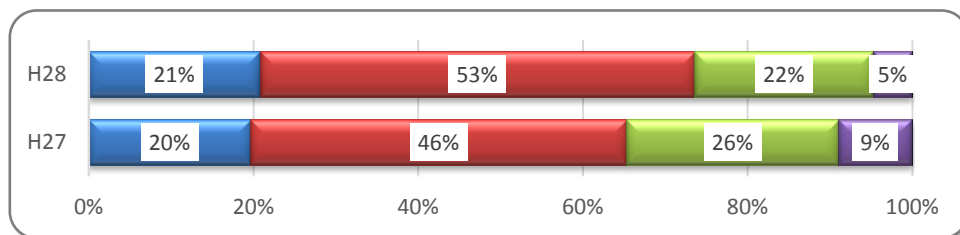
肯定的回答が 85%であり、前年度の 78%より増加した。3年間を通した進路指導により、1年生の段階から本校に大学・短大・専門学校・企業から講師を招いてキャリア教育を実施している。学年別の結果で1年生の肯定的回答が 92%に達していることはそれが評価されたと考えている。

【3】「人権の大切さについて学ぶ機会がある」



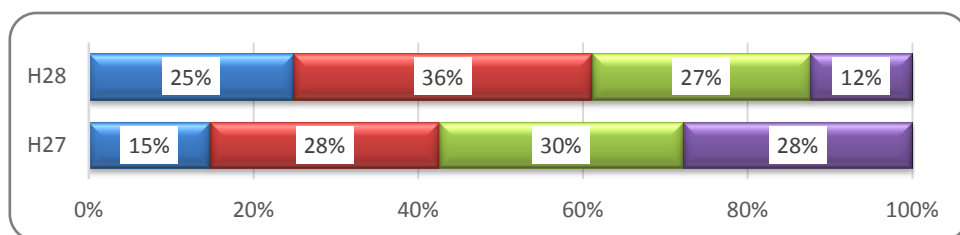
この3年間の肯定的回答が、63%→72%→80%となり向上が続いている。ホームルームの時間や人権教育行事などで全員対象に行っているが、各生徒の捉え方に差異があると思われる。今後とも丁寧に実施していきたい。

【4】「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」



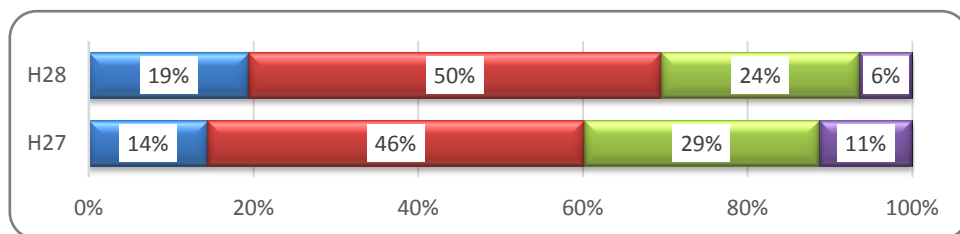
こちらも【3】と同様に全員対象に行っている。肯定的回答は向上しているが、一層丁寧に繰り返し実施していきたい。

【5】「担任の先生以外にも、気軽に相談することができる先生がいる」



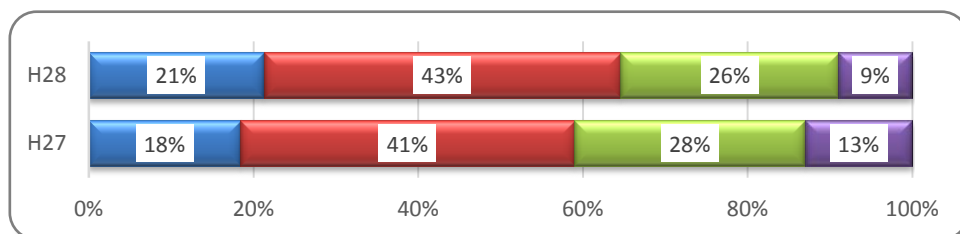
肯定的回答が 43%→61%となり向上した。前年度の質問文には、「保健室や相談室等で」という文が入っていたため限定的にとらえてしまう生徒がいたと思われるため、今年度はそれを取り除いた。学級担任以外の教職員とも相談できるように、相談係やスクールカウンセラーの配置など、教育相談体制を整えているが、それと並行して全教職員が生徒に傾聴姿勢をもって取り組んでいかなければならない。

【6】「先生はお互い協力して生徒指導にあたっている」



1 年前から遅刻をした際に、担任、部活動顧問、生徒指導担当など大勢の教員が順に指導するなど、協力して生徒指導を行う体制をとっている。今後とも、継続していきたい。

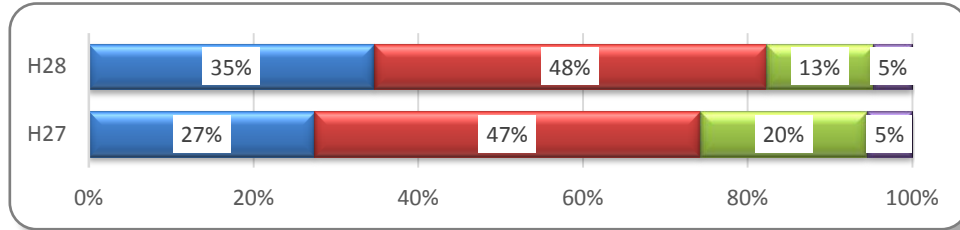
【7】「学校行事(文化祭・体育祭など)は、みんなが楽しく行えるよう工夫されている」



肯定的回答が 64%であり前年度より向上したが、まだ改善は必要である。ただ、保護者編の【4】にあるように、「体育祭、文化祭は学校生活を充実させるものになっている」という観点においては、肯定的回答が 92～93%の高率になっている。

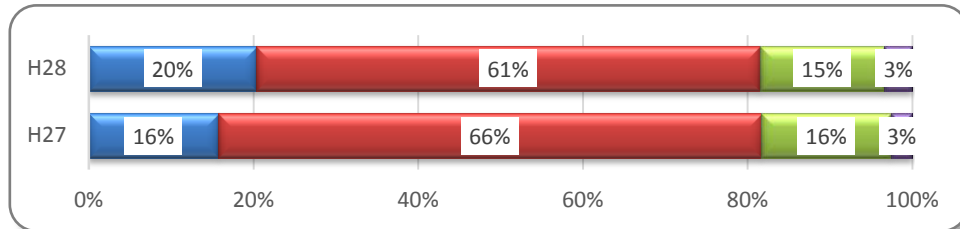
保護者編

【1】「子どもは学校が楽しいと言っている」



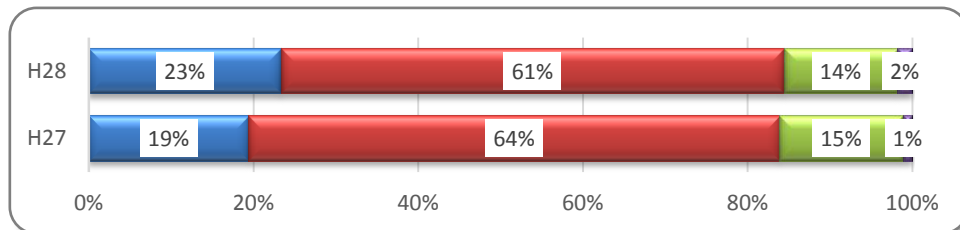
この2年間の肯定的回答が、74%→83%となり向上した。同じ内容が生徒編【1】にあり、生徒の肯定的回答は76%であった。「①まったくあてはまらない」という回答が5%存在していることにしっかりと向き合っ
て、生徒一人ひとりの気持ちを大切にされた教育活動を行っていかなければならない。

【2】「学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」

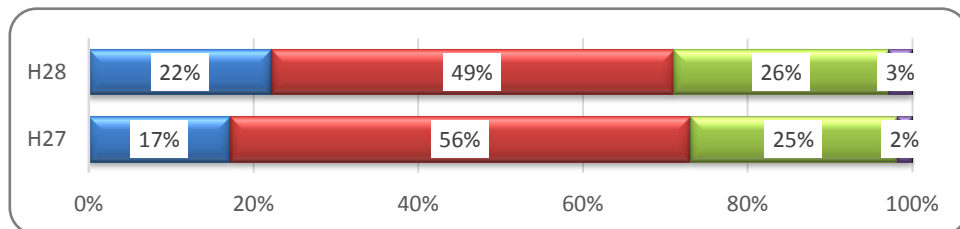


肯定的回答が81%であり、前年度とほぼ同じ結果であった。1年生の段階から、3年間を通したキャリア教育を実施している。

【3】「学校は保護者の相談に適切に応じてくれる」

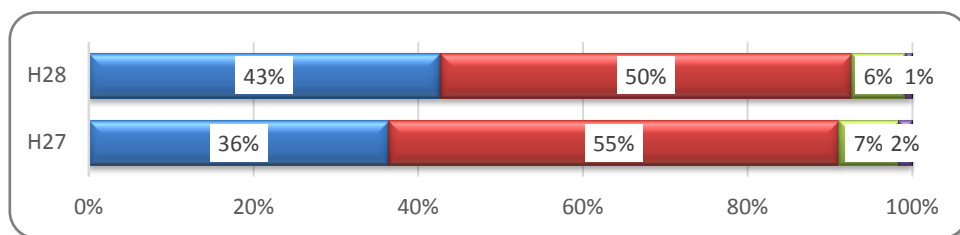


「先生は子どもたちの質問や相談に丁寧に応じてくれる」

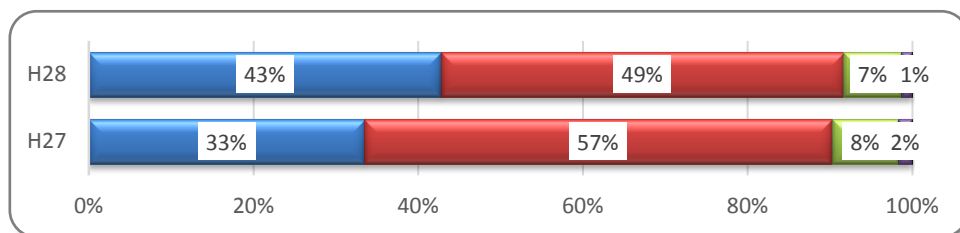


「保護者の相談に適切に応じる」ということに対する肯定的回答が84%であるのに対して、「子どもたちの質問や相談に丁寧に応じる」に対しては71%となっている。ともに適切かつ丁寧な対応ができるように取り組んでいかなければならない。

【4】「体育祭は学校生活を充実させるためのものになっている」

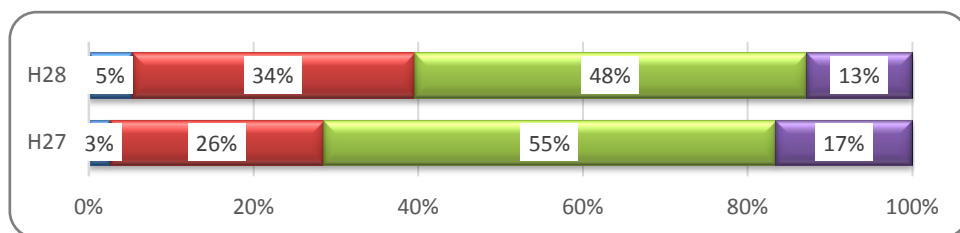


「文化祭は学校生活を充実させるためのものになっている」



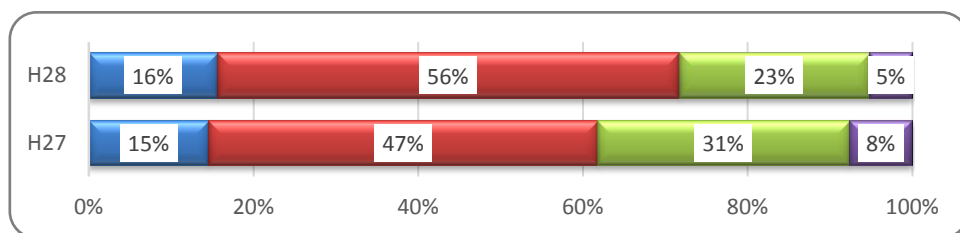
肯定的回答が、体育祭 93%、文化祭 92%となり、両方とも学校生活を充実させるためのものになっていると、保護者から高い評価を得ている。

【5】「子どもは授業が楽しいと言っている」



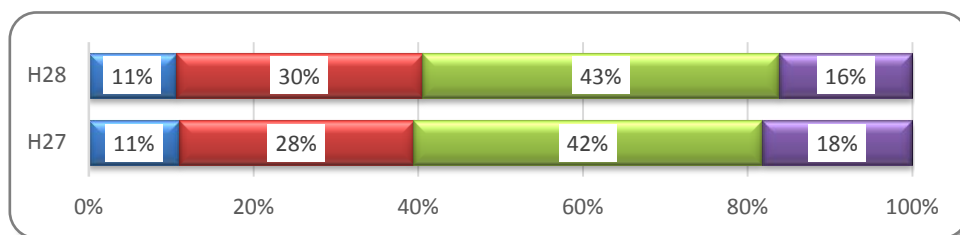
肯定的回答は29%→39%と少し改善が見られたが、根本的には未改善である。授業は楽しいだけではなく、宿題が出されたり度々のテスト勉強で楽しくない要素があったりするとは考えるが、楽しいという要素も重要である。きちんと受け止めて、各教員が努めていかなければならない。

【6】「各教科で行っている放課後等の補習・講習は効果的なものである」



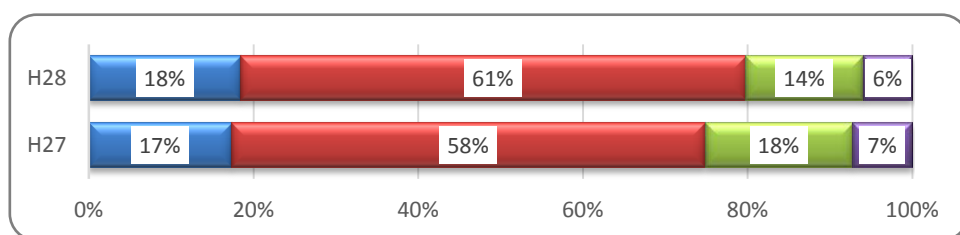
各教科で生徒に力を付けてもらおうと、放課後や土曜日、長期休暇中などいろいろな機会において補習・講習を行っている。効果的であると保護者から評価していただいているのは、62%→72%に増加した。今後とも積極的に取り組んでいきたい。

【7】「子どもは家庭でよく学習している」



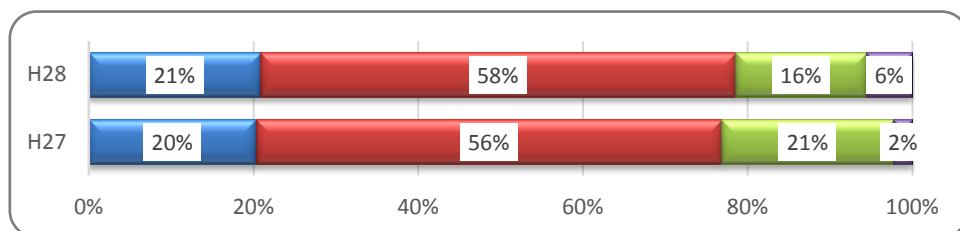
肯定的回答が41%であり、家庭学習が不足していることがわかる。学校では自習室の提供も行っているため、「家庭」でしていなくても学習している生徒はいると思うが、この割合では各自が十分な家庭学習(授業外学習)を行っているとは言えない。各学年・教科で取り組んでいかなければならない課題である。

【8】「学校の生徒指導方針に共感できる」



79%の保護者の理解を得ていることに感謝する一方で、「①まったくあてはまらない」という回答が6%存在していることにしっかりと向き合っていかなければならない。

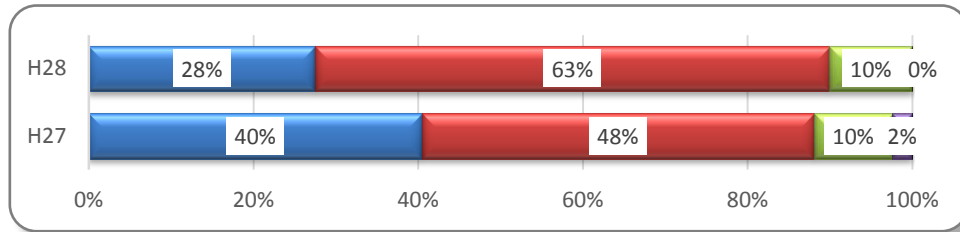
【9】「保護者にとって、本校の教育は全般的に満足できる」



本校の教育への満足度(肯定的回答)は79%であった。今後とも一層の充実に努め、賛同を得ることができるように取り組んでいきたい。

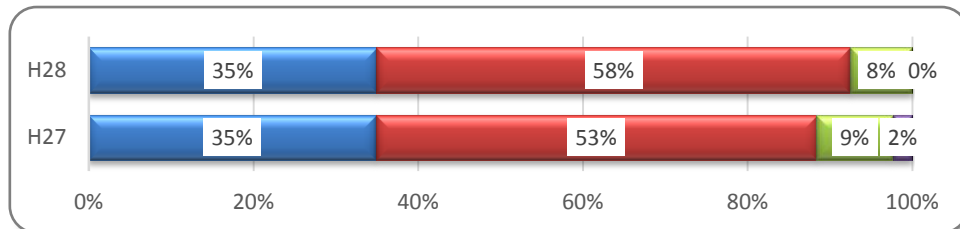
教職員編

【1】「生徒の実態を踏まえ、学習形態や学習指導方法の工夫・改善を行っている」



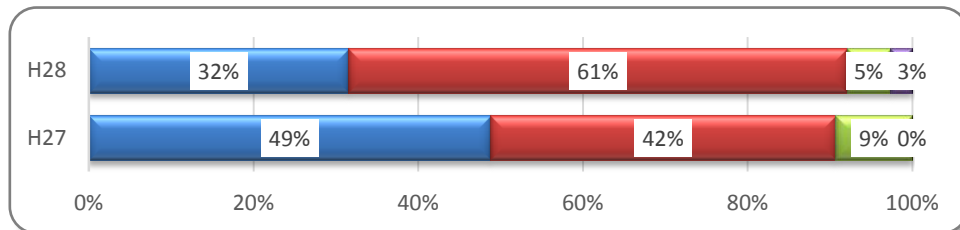
肯定的回答が 91%になった。各教科において、基礎・基本を明確にし、教材の精選・工夫を行う教員が 83%、ICT を活用する授業を実践した教員が 71%など、さまざまな工夫・改善に取り組んでいる。

【2】「テストの得点だけでなく、いろいろな側面から学習の評価を行っている」



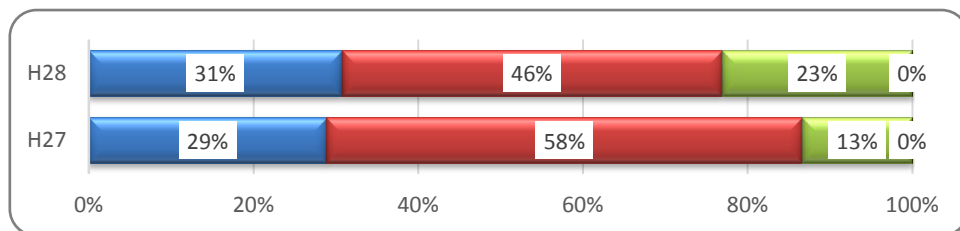
肯定的回答が 93%となった。生徒の日々の取組みを加えて評価しようと、毎授業で各教員が工夫をしている。

【3】「授業以外にも、必要な教科で講習や補習等の取り組みがよく行われている」



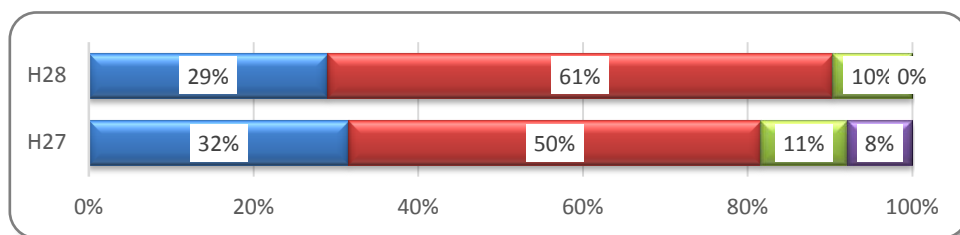
肯定的回答が 93%であった。放課後、土曜日、長期休暇中など講習・補習が幅広く実施されている。

【4】「生徒一人ひとりが興味、関心、適性に応じて進路選択できるよう、きめ細かい指導を行っている」



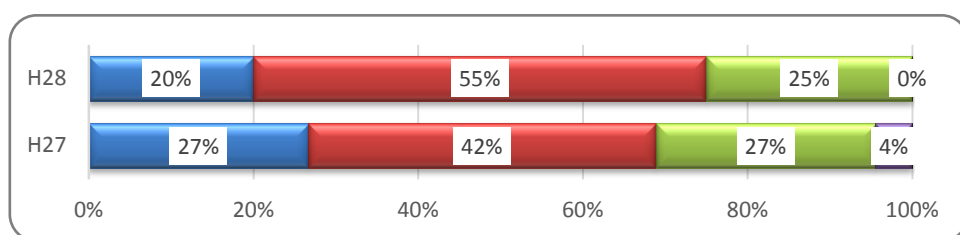
肯定的回答が 77%となり、前年度より下がった。担任団や進路指導部担当だけでなく、教職員全員がさまざまな場面でキャリア教育に携わっていることを意識して、一層取組みを進めていきたい。

【5】「学校案内やリーフレット、ホームページなどの広報資料はよく整備されている」



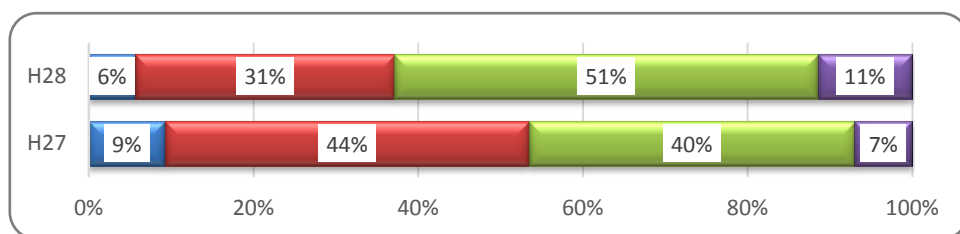
肯定的回答が82%→90%となり向上した。学校案内やリーフレットを1年前に一新するとともに、今年度4月からは、学校 Web ページを新しくした。4月から9か月間の更新回数は175回となり、前年度の4倍超である。

【6】「本校の部活動は活発である」



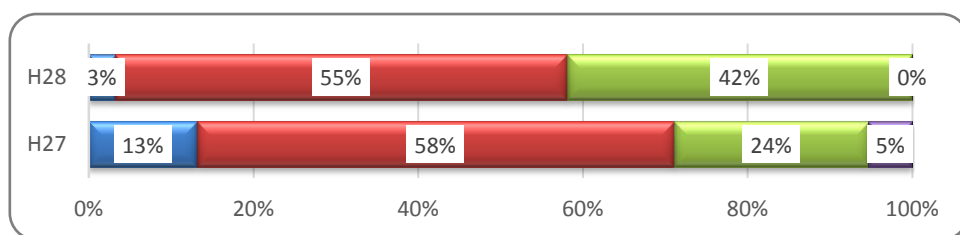
肯定的回答が75%となった。部活動の加入率は68%に留まっているが、入部している生徒は熱心に活動している。なお、平成29年1月からのノークラブデーの実施により週1回以上の部活休養日を設けることになっている。

【7】「清掃がいき届いている」



この2年間の肯定的回答が53%→37%と下がっている。しっかりと清掃に取り組むように生徒を指導していく必要がある。この質問項目とは別であるが、野球部においては加えて学校外の地域清掃も年間通じて定期的に行っていて、地域の方や寝屋川市からも感謝の言葉を受けている。

【8】「教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画にいかしている」



肯定的回答が58%となり、前年度より下がった。PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを意識して、評価を行い、次年度の計画にいかすという行動を全教員ができるよう求めている。